



5月の園だより

太陽の子保育園 平成25年5月号

新しいお友達を迎えて園生活が始まり、もう1か月が過ぎました。登園時、お母さんとなかなか離れずに泣いていた新入園児も、たくさんの先生やお友達にやっとなり慣れ、明るい笑顔を見せてくれるようになりました。進級児も、ひとつ大きくなった喜びを感じ、落ち着いた日々を過ごしています。

この時期は子どもたちにとって、緊張感がとけ疲れやすい時期でもあります。ご家庭でも、睡眠・朝ごはんをしっかりとって、元気に過ごしていけるようご配慮いただければと思います。

遠くに遊びに行くのも楽しいですが…
親子で自然豊かな羽村の公園に
遊びに行くのもいいですね!!



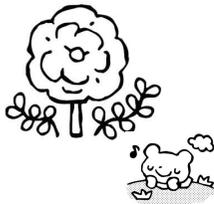
自然と親しめるあそびで五感がイキイキ! 感覚が磨かれます

自然は子どもたちにとって絶好のあそび場です。そしてただ楽しいだけでなく、自然の中で感じられることが、新たな感性を生み出すスタートになってくれます。例えば、植物の形・色・においを見たり感じたりすることによって、子ども自身もともと持っている五感をフル稼働させることができるのです。

木や葉っぱ、木の実など、自然の中には子どもたちの興味をひくものがいっぱい。ときには、親子でゆったりとした気分で自然の力に触れてみてはどうでしょうか。豊かな時間がきっと過ごせると思います。

木のおしゃべりを聞こう!

紙コップ1個で「自然と会話」



紙コップを用意します。底に耳を当て、紙コップの口を木の幹に当ててみましょう。風の音や、木が水を吸い上げる音など、いろいろな音を聞き取ることができます。ママは「木はどんなお話をしていたの?」というふうに問いかけを。子どもは自分の感性で感じたことを正直に話してくれます。紙コップを使うことで、日ごろ聞かない音を聞くことになり、頭の中に新しい感性のチャンネルが1つ生まれてくるのです。

紙コップに簡単なイラストを描くと、「自分のコップ」という意識が芽生え、意欲とやる気を引き出します。

遊ぶときに一番大切なのは、親子で会話をする事。子どもの感じていることを引き出すように、問いかけましょう。

5月の予定

- 1(水) 体育指導(職員・幼児)
- 2(木) 子どもの日会
- 11(土) 親子遠足
- 15(水) 音楽指導(幼児クラス)
- 17(金) 調理保育(らいおん)
- 18(土) 園外職員研修日
- 20~24 身体測定の週間
- 20~24 職場体験(羽2・2年)
- 24(金) お誕生日会
- 28(火) 避難訓練
- 29(水) 体育指導(幼児クラス)
- 29(水) 園内職員研修

※体育指導の実施日を変更しました

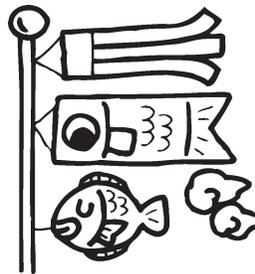


6月の予定

- 3日(月) 虫歯予防集会
- 4日(火) 体育指導(職員・幼児)
- 4日(火) 懇談会(べんぎん)
- 5日(水) 懇談会(うさぎ)
- 6日(木) 保育参加・懇談会(ぼんだ)
- 8日(土) 懇談会(ひよこ)
- 11日(火) 保育参加・懇談会(くま)
- 12日(水) 保育参加・懇談会(らいおん)
- 13日(木) 避難訓練
- 14日(金) 調理保育(くま)
- 17~21日 身体測定の週間
- 19日(水) 体育指導(幼児)
- 21日(金) 職員会議
- 26日(水) 音楽指導
- 28日(金) お誕生日会

※ひよこ懇談会の実施日を1日から8日に変更させていただきました。

端午の節句



端午の節句とは5月5日に、こいのぼり・鎧兜・菖蒲を飾ったり、菖蒲湯に入り柏餅やちまきを食べ、男の子の厄よけと成長を祝う行事です。

子どもの日は、「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」国民の祝日です。子どもの成長を祝う「端午の節句」が5月5日だったことから制定されました。

★端午の節句の由来…古来より中国では、物忌みの月(5月)には厄払いの行事が盛んに行われていました。端午というのは、月の端(はじめ)の午(うま)の日という意味。

午(ご)と五(ご)の音が同じなので、毎月5日を指すようになり、やがて5月5日のことになったとも伝えられています。端午の日に、邪気をはらう力があるといわれる「菖蒲」をヨモギとともに軒につるしたり、菖蒲湯に入ったりしました。「菖蒲」が、武運を大切にする「尚武(しょうぶ)」と結びつき、男の子の厄よけと成長祈願になりました。

★なぜ男の子のお祝い?…5月5日は、徳川幕府の重要な式日に定められ、大名や旗本が、式服で江戸城に参り、将軍にお祝いを奉じるようになりました。そして、武家に男の子が生まれると、門前に馬印(うまじるし)や幟(のぼり)を立てて男児誕生を衆々に知らせ、お祝いました。この行事が、薬草を摘んで邪気をはらうという端午の行事と結びつき、男の子の誕生の祝いへと結びついていったのだそうです。

春でも車内で熱中症に…車の中に子ども残さないで!!

ぽかぽか陽気が心地よくなるこれからの季節は、止めた車の中に閉じ込められた子供が熱中症になる事故が起きやすい時期でもあります。晴れの日でも外気温はそれほど上昇しないため、子どもを車内に残し買い物などに掛けるケースが多いからです。JAF(日本自動車連盟)などは「強い春の日差しに油断は禁物」と、注意を呼び掛けています。

38.9度まで上昇。「直射日光が当たるダッシュボードが熱源となるため、車内温度の上昇に、車種や外装色、外気温はあまり影響ない」としています。

JAF広報部は「外は涼しいから大丈夫という思い込みが、幼い子どもの熱中症事故を引き起こす原因」と指摘し、「春でも、車内気温は真夏と同じぐらい上昇することを知ってほしい」と訴えています。

JAFでは4月に、窓を閉め切った車内での温度変化をテストし、その結果、最高外気温は23.3度でしたが、車内室温は最高48.7度、ダッシュボードは同70.8度にまで達したそうです。

4枚の窓すべてを4センチ開けた車では、全閉した車より低いものの、車内温度は最高

外は23℃でも…



車内は49℃!!



昭和記念公園



昭和記念公園は、こどもから大人まで幅広く楽しむことができる国営公園です。こどもたちに大人気なのは、「こどもの森」。ワクワク広場・月の丘・森のとりで・地底の泉・虹のハンモック・森の家・石の谷・霧の森・太陽のピラミッド・雲の海・ドラゴンの砂山と、1日ではあそびきれない程たくさんの施設があります。

6/23(日)まで「水あそび広場」であそべます。レインボープール内にある3箇所の幼児向けプールが、水遊び場としてオープンします。※無料(入園料別)



保育園を支えていただいている方々

保育園は職員の他に、多くの方々に支えられて運営しています。



嘱託医

小児科 道佛 雅克先生(わかくさ医院院長)
歯科 井上 雄温先生(井上歯科医院院長)
健診の他、日々の様々な病気・ケガについても、看護師を通して相談ののっていただいています。

体育指導 長屋 あゆみ先生(日本経営教育研究所)

子どもたちから大人気の長屋先生です。毎月の幼児体育指導の他、職員を対象とした体育指導研修も行っていただいています。

音楽指導 大月 友則先生

音楽指導の先生で、合奏やマーチングなどの指導で全国を飛び回っています。園では幼児クラスでの歌や合奏指導に合わせ、職員研修もお願いしています。

心理相談 澤井 晴乃先生(NPO法人かけはし)

心理相談員の観点から、日々の保育へのアドバイスをいただいています。また、職員を対象とした発達心理に関わる研修も行っていただいています。

カメラマン 後藤 巖さん(ゴトウ写真工房)

こどもの自然な笑顔を撮影するのがとても上手なプロカメラマンです。事務所は練馬区にあり、いつも行事のたびに車でお越しいただいています。

開園時間

平日	9:30~17:00
土日祝	9:30~18:00
夏期	8:30~19:00

入園料

大人(15歳以上)	400円
小人(小中学生)	80円
シルバー(65歳以上)	200円

小学生未満のお子様は無料です。